

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防署 第1警備課		担当課長名	森田和也
(※)第2期実施計画の事業名	消防車両管理事業		財務会計上の事業名	消防車両管理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3021	1	財務会計上の短縮番号	5455
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	火災等災害に対する迅速な対応
事業の対象 (誰を、何を)	消防自動車、高規格救急車等
事業の手段・方法 (どのように)	消防自動車、高規格救急車等の維持管理
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H29/H28				
事業費(千円)		11,255	11,600	37,596	11,306	324.1%				
主な内訳	燃料費	4,590	4,233	4,765	5,485	112.6%				
	修繕料	5,235	5,599	31,670	4,469	565.6%				
	設備保守点検委託料	619	619	425	619	68.7%				
人件費(人・千円)		11.60	87,160	13.45	99,530	13.55	102,980	14.05	109,590	100.7%
内訳	正職員	11.35	86,260	13.45	99,530	13.55	102,980	14.05	109,590	100.7%
	再任用短時間勤務職員	0.25	900		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		98,415	111,130	140,576	120,896	126.5%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他()					-				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	98,415	111,130	140,576	120,896	126.5%				
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担が無いため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	車両の保守点検業務
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条により市が行う事業のため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		消防車両の維持管理	台	27	27	27	27	27
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				災害即応体制継続のための車両維持管理ができた。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				法定点検等の他に、毎日の運行前点検、週期特別点検の実施により、災害即応体制の継続が効率的にできたが、車両の使用頻度に比例して費用が増加している現状を考えると、日常管理の徹底が必要となる。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	災害即応体制継続のため、車両維持管理は必要不可欠である。なお、平成29年度においては、15mはしご車のオーバーホールを実施、平成30年度は、それに係る計上はないため。	
現在抱える課題と対策	課 題	車両の使用頻度に比例して費用が増加している。
	対 策	より細やかな日常管理の徹底による費用の抑制が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	災害即応体制継続のため、車両維持管理は必要不可欠であるが、車両の使用頻度に比例して費用が増加している現状を考えると、より細やかな日常管理の徹底による費用の抑制が必要である。また、40mはしご車のオーバーホールもメーカー推奨年を超えていることから、速やかに実施する必要がある。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部 警防課		担当課長名	小泉 剛
(※)第2期実施計画の事業名	通信機器管理事業		財務会計上の事業名	通信機器管理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3201	2	財務会計上の短縮番号	5460
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	迅速、的確かつ効果的な防災活動を行う。
事業の対象 (誰を、何を)	防災指令センター運用(車載無線含む)
事業の手段・方法 (どのように)	通信機器の維持管理
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		36,487		58,127		56,871		58,504		97.8%
主な 内訳	通信運搬費	829		754		673		535		89.3%
	設備保守点検委託料									-
	負担金	35,618		57,140		56,175		57,698		98.3%
人件費(人・千円)		6.20	47,120	6.20	45,880	6.20	47,120	6.20	48,360	100.0%
内 訳	正職員	6.20	47,120	6.20	45,880	6.20	47,120	6.20	48,360	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		83,607		104,007		103,991		106,864		100.0%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	83,607		104,007		103,991		106,864		100.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	設備の保守点検業務
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	設備の保守点検業務以外、消防組織法(第6条)により、市が当該市の区域における消防を十分に果たす責任を有しているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	消防指令センターの維持管理	施設	1	1	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	消防指令センターを整備(更新)	施設	-	-	-	-	-
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	119番受信件数	件	6,788	7,232	7,068	7,157	7,157
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		消防指令センター(車載無線含む)の維持管理、及び豊中市と共同で消防指令センターの整備						
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	消防指令センターの維持管理、及び豊中市と共同で消防指令センターの整備も計画通り実施、効率性については消防指令センターを2市共同で整備したことにより整備費用の削減が図れた。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	豊中市と共同で消防指令センターの整備(更新)を実施。	
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	豊中市と消防指令業務の共同運用を開始し、通信機器の維持管理を行う。	
現在抱える課題と対策	課 題	負担金の発生
	対 策	平成27年度以降、負担金(豊中市に支出)が発生しているが、共同運用することにより事業総額で経費の削減を図っている。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成27年度より池田市、豊中市で消防指令業務共同運用を開始し、消防指令センターの維持管理は基より、共同運用した成果物として豊中市との消防応援体制の更なる迅速化により消防力を強化し、市民の安全、安心を図っている。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防署 第1警備課		担当課長名	森田 和也	
(※)第2期実施計画の事業名	消防水利管理事業		財務会計上の事業名	水利管理事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3021	3	財務会計上の短縮番号	5465	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第2節消防・救急救助体制の強化			
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	消防活動が迅速に対応できるようにする。
事業の対象 (誰を、何を)	消火栓
事業の手段・方法 (どのように)	消火栓の点検、維持管理を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防法第20条第2項

2 事業費等

区分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		2,892		2,896		2,900		2,906		100.1%
主な内訳	繰出金	2,892		2,896		2,900		2,906		100.1%
										-
人件費(人・千円)		6.25	46,500	6.50	48,100	6.45	48,640	6.85	53,040	99.2%
内訳	正職員	6.00	45,600	6.50	48,100	6.35	48,260	6.75	52,650	97.7%
	再任用短時間勤務職員	0.25	900		0	0.10	380	0.10	390	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		49,392		50,996		51,540		55,946		101.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	49,392		50,996		51,540		55,946		101.1%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担が無いため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防法(第20条第2項)により、消防に必要な水利施設は、当該市がこれを設置し、維持し及び管理しなければならないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消火栓維持管理	基	1446	1450	1,453	1454	1454
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		消火栓として良好な状態で維持管理できているため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	活動指標である消火栓の維持管理は良好な状態である。効率性においても1基あたりの繰出し金額の増加もなく推移している。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	消防活動が迅速に対応できるように消火栓の維持管理を行う。	
現在抱える課題と対策	課 題	消火栓の維持管理は良好な状態であり、課題はない。
	対 策	現状を維持する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	消防活動の根幹となる消火栓の維持管理を行い、消防力を維持し、市民の安全、安心に努める。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防署 第3警備課		担当課長名	福井 晶一
(※)第2期実施計画の事業名	消防活動事業		財務会計上の事業名	消防活動事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3021	4	財務会計上の短縮番号	5470
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	消防活動能力の強化
事業の対象(誰を、何を)	消防隊員
事業の手段・方法(どのように)	消防活動能力の基本となる消防資機材及び個人装備の充実
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H29/H28
事業費(千円)		4,986	6,286	7,871	7,161	125.2%
主な内訳	消耗品費	1,572	1,564	1,746	2,930	111.6%
	通信運搬費	113	107	109	116	101.9%
	負担金	3,058	3,828	4,034	3,540	105.4%
人件費(人・千円)		110,340	100,640	13.75 104,500	14.35 111,930	-
内訳	正職員	14.40 109,440	13.60 100,640	13.75 104,500	14.35 111,930	101.1%
	再任用短時間勤務職員	0.25 900	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時任用職員		0	0	0	0	-
支出合計 A		115,326	106,926	112,371	119,091	105.1%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		115,326	106,926	112,371	119,091	105.1%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益負担が無いため				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条により市が行う事業のため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	出場回数	件	582	646	598	700	700
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		消防活動の強化及び安全管理の徹底のため、資器材及び個人装備の新規購入・更新を計画的に実施できている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		消防活動の強化及び安全管理徹底のため、資器材及び個人装備の新規購入・更新を効率的に実施できたが、財政状況を鑑み、きめ細やかな更新計画を考慮する必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	消耗品において、現場外套の更新を29年度より2着増やし7着とし、空気呼吸器面体を個人貸与とするため33個新規購入する。	
現在抱える課題とその対策	課 題	消防隊員の安全管理、公務災害防止の徹底。
	対 策	消防隊員の安全管理上、個人装備の更新は必要となるため、きめ細やかな更新計画に基づき実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	消防活動の強化及び安全管理徹底のため、資器材及び個人装備の新規購入・更新が必要で、厳しい財政状況ではあるが、全職員個人装備のため現場外套の更新計画を継続していく必要があり。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防署第1警備課		担当課長名	森田和也
(※)第2期実施計画の事業名	救助活動事業		財務会計上の事業名	救助活動事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3021	5	財務会計上の短縮番号	5480
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	救助業務の多様化や、社会情勢の変化に対応できる救助体制の充実に努める。
事業の対象 (誰を、何を)	救助隊
事業の手段・方法 (どのように)	救助活動の基本となる救助資機材や救助隊員の個人装備を充実する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法6、8条・消防法第36条の2

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		887		2,447		1,605		2,400		65.6%
主な内訳	消耗品費	283		397		697		650		175.6%
	手数料	347		502		591		455		117.7%
	機械器具費			1,180				1,049		0.0%
人件費(人・千円)		11.60	88,160	10.20	75,480	10.40	79,040	10.40	81,120	102.0%
内訳	正職員	11.60	88,160	10.20	75,480	10.40	79,040	10.40	81,120	102.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		89,047		77,927		80,645		83,520		103.5%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	89,047		77,927		80,645		83,520		103.5%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担が無いため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法(第6条)により、市が当該市の区域における消防を十分に果たすべき責任を有しているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	救助出動	回	85	84	99	99	99
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		救助資機材、及び救助隊員の個人装備を定期的に更新し、救助体制の充実に努めているため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	活動指標である救助出動を確保するため、救助資機材、及び救助隊員の個人装備を定期的に更新し、一定の効果が得られている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	救助活動の基本となる救助資機材や救助隊員の個人装備を充実する。平成30年度においては、備品購入費において空気ボンベ4本等の更新が生じ予算計上したものの。	
現在抱える課題とその対策	課 題	救助隊員の安全管理
	対 策	救助隊員の安全を確保するため個人装備の充実を図るとともに、個々の技術向上のため訓練を実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	救助活動の基本となる救助資機材や救助隊員の個人装備を充実することで、救助業務の多様化や、社会情勢の変化に対応した救助体制を図り、消防力を強化し、市民の安全、安心に努める。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防署 第1警備課		担当課長名	森田 和也
(※)第2期実施計画の事業名	消防団車両管理事業		財務会計上の事業名	消防団車両管理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3021	6	財務会計上の短縮番号	5565
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	火災等災害に対する迅速な対応
事業の対象 (誰を、何を)	消防団消防自動車
事業の手段・方法 (どのように)	消防団消防自動車の維持管理
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H29/H28
事業費(千円)		1,532	1,772	1,572	1,907	88.7%
主な内訳	燃料費	156	171	155	228	90.6%
	修繕費	523	615	904	810	147.0%
	機械器具費	292	388		270	0.0%
人件費(人・千円)		1.65	11,540	1.80	13,320	105.6%
内訳	正職員	1.40	10,640	1.80	13,320	105.6%
	再任用短時間勤務職員	0.25	900	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0	-
	非常勤職員		0	0	0	-
	臨時的任用職員		0	0	0	-
支出合計 A		13,072	15,092	104,552	15,167	692.8%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	13,072	15,092	104,552	15,167	692.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担が無いため				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法(第6条)により、市が当該市の区域における消防を十分に果たすべき責任を有しているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		消防団車両の維持管理	台	8	8	8	8	8
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	火災等災害に対する迅速な対応のための消防団車両の維持管理ができた。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	火災等災害に対する迅速な対応のため、消防団車両の維持管理が効率的にできているが、車両の維持管理費の増加が見込まれるため、日常管理の徹底による費用の抑制を考慮する。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	車両の維持管理費の増加が見込まれるが、より細やかな日常管理の徹底により費用の抑制につなげる。	
現在抱える課題と対策	課 題	車両の維持管理費の増加が見込まれる。
	対 策	日常管理の徹底により、費用の抑制につなげる。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	車両の維持管理費の増加が見込まれるが、より細やかな日常管理の徹底により費用の抑制につなげる。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部 警防課		担当課長名	小泉 剛
(※)第2期実施計画の事業名	消防車両等整備事業		財務会計上の事業名	消防車両等整備事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3021	8	財務会計上の短縮番号	5617
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目3救急体制の充実と救急需要への対応		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	火災等災害に対する迅速な対応及び救急需要における病院前救護体制の充実・強化
事業の対象 (誰を、何を)	消防車両、消防資機材、救急救命用資機材の更新整備
事業の手段・方法 (どのように)	消防車両、高規格救急車の更新整備及び消火活動の基本となる資機材の充実強化
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその他	消防法第1条、消防組織法第6条、消防力の整備指針

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H29/H28
事業費(千円)		28,437		70,935		-
主な内訳	機械器具費	9,321		10,746		-
	自動車購入費	19,116		60,189		-
人件費(人・千円)		0.35	2,660	0.00	0	-
内訳	正職員	0.35	2,660	0	0	-
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0	-
	非常勤職員		0	0	0	-
臨時任用職員			0	0	0	-
支出合計 A		31,097	0	88,035	0	-
財源	国・府支出金	11,588				-
	地方債	8,500				-
	その他()	1,100				-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		9,909	0	88,035	0	-
一般財源比率 C÷A		31.9%		100.0%		-
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	地域の実情に応じ、かつ隊員の意見を取り入れた仕様にしなければならないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H31)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	車両更新台数	台	1	0	3	0	2
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	火勢件数(年中)	件	23	19	12	-	-
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	救急件数(年中)	件	5,262	5,591	5,619	-	-
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	その他(年中)	件	535	602	630	-	-
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		現有消防力の確保と市町村の消防責任の履行ができたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		現有消防力の維持と救急需要の増加とニーズに応じた病院前救護体制の充実・強化と災害に対する迅速・的確な対応を行なうことができたため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	更新車両の選定について5カ年計画を見直した	
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	29年度は2台の車両更新があったが、30年度は車両更新が無いため。	
現在抱える課題と対策	課 題	救急需要の増加による救急車、救命資機材の短期間の老朽化と消防車両等の更新時期
	対 策	使用頻度、修理状況を見極めながら更新順位を検討し計画
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	安定した消防力の維持と迅速・的確な病院前救護体制の維持・継続	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部 総務課		担当課長名	金井 博司
(※)第2期実施計画の事業名	消防庁舎管理運営事業		財務会計上の事業名	消防庁舎管理工事
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3021	10	財務会計上の短縮番号	5616
総合計画の体系	章	第3章人・環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目1消防体制の充実・強化・広域化		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	防災拠点の維持管理
事業の対象 (誰を、何を)	消防本部(署)庁舎、及び細河分署庁舎
事業の手段・方法 (どのように)	消防庁舎の維持管理
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条(市町村の消防に関する責任)

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		10,606		8,457		5,606		2,000		66.3%
主な内訳	工事請負費	10,606		8,457		5,606		2,000		66.3%
										-
人件費(人・千円)		0.25	1,900	0.40	2,960	0.40	3,040	0.40	3,120	100.0%
内訳	正職員	0.25	1,900	0.40	2,960	0.40	3,040	0.40	3,120	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		12,506		11,417		8,646		5,120		75.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	12,506		11,417		8,646		5,120		75.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防庁舎の維持管理	ヶ所	2	2	2	1	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				庁舎の老朽化に伴い、修繕が必要と思われる箇所が多くあり、優先順位を付けて修繕しているため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	庁舎の老朽化に伴い、修繕が必要と思われる箇所が多くあり、優先順位を付けて修繕しているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		細河分署車庫門扉設置工事。
現在抱える課題と対策	課 題	庁舎の老朽化に伴い、修繕が必要と思われる箇所が多く存在する。
	対 策	優先順位を付け順次修繕していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	消防本部及び細河分署庁舎については、個別施設計画を策定し施設の長寿命化を図っていくもの。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部予防課		担当課長名	青谷 憲和	
(※)第2期実施計画の事業名	予防活動事業		財務会計上の事業名	予防活動事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3022	1	財務会計上の短縮番号	5485	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第2節消防・救急救助体制の強化			
	項目	項目2高齢者世帯を中心とした住宅防火対策			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市民生活の安全性の向上が図られる
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	防火対象物、危険物施設及び保安3法施設の立入検査、高齢者宅等の住宅防火診断及び住宅用火災警報器の設置促進を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防法第1条、第4条、第8条、第16条の5、火薬類取締法第45条の37、高圧ガス保安法第62条、液化石油ガスの保安に関する法律第83条

2 事業費等

区分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		193		338		333		280		98.5%
主な内訳	消耗品	189		326		324		223		99.4%
	負担金	4		12		4		52		33.3%
人件費(人・千円)		3.80	26,880	3.80	26,220	4.30	30,780	4.30	29,640	113.2%
内訳	正職員	3.30	25,080	3.30	24,420	3.80	28,880	3.30	25,740	115.2%
	再任用短時間勤務職員	0.50	1,800	0.50	1,800	0.50	1,900	1.00	3,900	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		27,073		26,558		31,113		29,920		117.2%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	27,073		26,558		31,113		29,920		117.2%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	防火管理者講習会に伴う受付及び講義等に関すること
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	委託により上記の効果は見込まれるものの、職員自ら講師を行うことで経験、スキルアップ等の効果が望まれると共に、地域特性に即した講義内容が実施できるメリットもある。他市の実績等を検証し、継続して検討していく。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指標	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	査察(防火対象物)	回	317	206	424	400	400
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	査察(危険物・保安3法)	回	99	117	154	120	120
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	防火管理者講習会	回	2	1	1	1	1
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	住宅防火診断(訪問診断)	回	13	19	11	20	40
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	住宅用火災警報器設置率	%	83	80	84	81	100
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		住宅用火災警報器設置率が、27年度から30年度にかけて約3%の増減を繰り返しているが、無作為に抽出した集計調査の誤差の範囲と思慮。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		査察に関しては、より火災危険性の高い消防法違反対象物を重点的に実施していくほか、長期未実施等対象物に対して指導徹底していくことで、消防法違反の減少に繋がると思慮。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	火災件数の減少等、一定の成果を得られており、本年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題とその対策	課題	住宅用火災警報器の設置率向上及び既設機器の維持管理。また、消防法違反対象物への違反是正の強化。
	対策	住宅用火災警報器については、各種イベント等を活用して設置・維持管理を継続的に啓発。違反是正強化については、職員のスキルアップと効果的な体制作りを実施。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	市民の安全安心を守るため、火災予防の充実強化は不可欠であることから、各事業は継続していく必要がある。事務量の増加に対しては事務効率の向上を図るとともに、特に査察に関して重大消防法違反の早期是正のほか、市内全防火対象物の定期的な査察を行える体制づくりが必要であると思慮。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防署 第2警備課		担当課長名	源 克己
(※)第2期実施計画の事業名	救急活動事業		財務会計上の事業名	救急活動事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3023	1	財務会計上の短縮番号	5475
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目3救急体制の充実と救急需要への対応		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	救急業務の進展に即した教育訓練の推進、救命率の向上を図る
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	市民に対する応急手当の普及啓発に努める。救急活動の実施、救急救命士の養成と技能維持及び向上、メディカルコントロール体制の整備
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防法第35条の5

2 事業費等

区分		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H29/H28				
事業費(千円)		8,684	9,405	10,592	10,351	112.6%				
主な内訳	消耗品費	1,290	991	1,300	1,131	131.2%				
	医薬材料費	784	596	908	950	152.3%				
	負担金	4,132	4,905	5,277	5,059	107.6%				
人件費(人・千円)		20.00	152,000	20.40	150,960	20.60	156,560	20.60	160,680	101.0%
内訳	正職員	20.00	152,000	20.40	150,960	20.60	156,560	20.60	160,680	101.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		160,684	160,365	167,152	171,031	104.2%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他()					-				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	160,684	160,365	167,152	171,031	104.2%				
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	市民に対する応急手当の普及啓発に関しては、応急手当指導員、普及員でも実施可能。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	応急手当指導員、普及員による救命講習が増えることにより、救命講習の一部に係る事務負担が軽減だけでなく、市民自らが応急手当の普及啓発することで応急手当への関心が高まり、普及拡大につながる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予定)	目標値 (H30)
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	救急出場回数	回	5392	5546
<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		救命講習	回	82	68	78	82	85
<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		救命入門コース	回	8	8	9	14	15
<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果		救命講習	人	919	569	885	850	900
<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果		救命入門コース	人	634	535	866	1300	1400
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				救命講習、救命入門コースの実施回数、受講人員が年度によりばらつきがある。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)		高齢化率の上昇により救急要請が増え、救急件数が増加している。救命講習、救命入門コースの実施回数・受講者の数は年度によりばらつきがある。救命講習については、各種イベントや市ホームページ等で広報しており、救命入門コースについては、市教育委員会を通じて市内公立小・中学校に開催・実施を依頼しているが、なかなか全ての学校で実施できていないのが現状である。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	救急出場件数は、適正利用の広報、予防救急の普及・啓発、救急相談ダイヤルの「救急安心センターおおさか」#7119の利用を促し減少を目指す。救命講習と救命入門コースについては、広報及び市教育委員会と調整し拡充を図る。	
現在抱える課題と対策	課 題	救急出場件数の増加の中、救急隊の増隊・増車を含めた、病院前救護体制の一層の充実・強化。また、予防救急の普及・啓発を含めた救命講習、救命入門コースの開催の拡充。
	対 策	救命入門コースについては、各学校単位で開催されているが、実施頻度が各学校によって偏りがないように、全ての学校で定期的な実施を目指す。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後も救急件数の増加が予想されるなか、救急車の適正利用、予防救急の普及・啓発に努める一方、救急隊の増隊・増車は必要である。救命講習と救命入門コースの更なる普及を拡充することにより、応急手当のすそ野を広げ、救命率の向上を目指す。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部総務課		担当課長名	金井 博司
(※)第2期実施計画の事業名	消防団運営事業		財務会計上の事業名	消防団運営事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3024	1	財務会計上の短縮番号	5570
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目4地域防災力の向上		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	災害時に初動対応ができるよう地域防災力を向上させ、消防団員の公務災害補償及び退職報償金等の支給をする。
事業の対象 (誰を、何を)	消防団員
事業の手段・方法 (どのように)	消防団員の教育訓練実施、及び消防団員(実員)の確保並びに各種負担金の支出。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条(市町村の消防に関する責任)・第24条(非常勤消防団員に対する公務災害補償)・第25条(非常勤消防団員に対する退職報償金)

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H30/H29
事業費(千円)		13,116	11,421	10,949	9,201	95.9%
主な内訳	報償金	5,664	3,989	2,966	2,875	74.4%
	消耗品費	1,713	1,715	2,220	500	129.4%
	負担金	5,616	5,619	5,624	5,678	100.1%
人件費(人・千円)		0.70 4,120	1.00 6,260	1.10 7,220	1.00 5,460	110.0%
内訳	正職員	0.40 3,040	0.70 5,180	0.80 6,080	0.40 3,120	114.3%
	再任用短時間勤務職員	0.30 1,080	0.30 1,080	0.30 1,140	0.60 2,340	100.0%
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時任用職員		0	0	0	0	-
支出合計 A		17,236	17,681	18,169	14,661	102.8%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		17,236	17,681	18,169	14,661	102.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条(市町村の消防に関する責任)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防団員数(実員)	人	178	174	176	180	180
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育訓練	回	266	254	250	250	240
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	公務災害件数	回	0	0	0	0	0
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	団員加入率(定員180名)	%	99	97	98	100	100
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	入団者数	人	5	9	9	4	4
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		消防団員数については、目標とする定員180名には届かなかったものの、充足率は全国平均の92.1%を大きく上回る98%である。また教育訓練を行い、公務災害の発生も無いことから、目標達成できたものと考え。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	平成29年度の実員数は176名であり、各分団において団員確保を行っているところ。充足率は全国平均を上回っており、問題はないところであるが、今後も継続して定員に近づけるよう団員確保を行うもの。消防団装備についても、引き続き計画的に個人装備の充実を図るもの。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市予算状況を考慮しながら、消防団の個人装備の充実を図る予定。	
現在抱える課題と対策	課 題	新入団員の確保を検討し、個人装備の充実を図る。
	対 策	町内会、自治会等を通じ新入団員の募集を募る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	地域防災力の中核となるため、消防団へは、より一層、質の高い教育訓練に取り組んでいただきたいもの。また消防団の充実強化では、市予算状況を考慮しながら、個人装備に重点を絞り、団員の安全管理に努め、公務災害ゼロを目指すもの。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部総務課		担当課長名	金井 博司
(※)第2期実施計画の事業名	消防団施設管理事業		財務会計上の事業名	消防団施設管理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3024	2	財務会計上の短縮番号	5560
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目4地域防災力の向上		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	災害拠点の維持管理
事業の対象 (誰を、何を)	消防団施設(7分団)
事業の手段・方法 (どのように)	消防団施設の維持管理
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	消防組織法第6条(市町村の消防に対する責任)

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		548		823		679		933		82.5%
主な内訳	光熱水費	262		234		253		288		108.1%
	修繕料	15		319		153		360		48.0%
	通信運搬費	207		206		206		215		100.0%
人件費(人・千円)		0.30	1,880	0.40	2,580	0.50	3,420	0.50	2,730	125.0%
内訳	正職員	0.20	1,520	0.30	2,220	0.40	3,040	0.20	1,560	133.3%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360	0.10	380	0.30	1,170	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,428		3,403		4,099		3,663		120.5%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,428		3,403		4,099		3,663		120.5%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	消防組織法第6条(市町村の消防に対する責任)

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防団施設の維持管理	箇所	7	7	7	7	7
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		災害拠点としての維持管理ができています。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		災害拠点である消防団施設の維持管理については、建物が年々老朽化することにより、維持管理コストが上昇することが考えられることから、施設の建替え等も考慮する必要があります。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	詰所施設内の修繕箇所があり、増額となる。なお、北豊島分団詰所については、移転新設となる予定。	
現在抱える課題と対策	課 題	経年により、建物内外の修繕料が増加する。
	対 策	継続的に、修繕を行うもの。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	災害拠点である消防団施設を継続的に修繕するもの。また、北豊島分団詰所移転に関しては、必要な措置を講じるもの。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	消防本部総務課		担当課長名	金井 博司
(※)第2期実施計画の事業名	出初式開催事業		財務会計上の事業名	出初式開催事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3024	3	財務会計上の短縮番号	5490
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第2節消防・救急救助体制の強化		
	項目	項目4地域防災力の向上		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域防災力を向上させる
事業の対象 (誰を、何を)	消防職員、消防団員、及び自衛消防隊
事業の手段・方法 (どのように)	消防出初式の開催
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28			
事業費(千円)	107	123	163		367		132.5%			
主な内訳	シルバーセンター活用事業委託料 ・会場設営委託料	103	108		351		104.9%			
	原材料費	18	9		13		355.6%			
	消耗品費	3	3		3		800.0%			
人件費(人・千円)	1.85	13,660	1.90	14,060	1.95	14,820	1.95	14,040	102.6%	
内訳	正職員	1.75	13,300	1.90	14,060	1.95	14,820	1.65	12,870	102.6%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0	0	0	0	0.30	1,170	-
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0	0	0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0	0	0		0	-
	非常勤職員		0	0	0	0	0		0	-
臨時的任用職員		0	0	0	0	0		0	-	
支出合計 A	13,767	14,183	14,983		14,407		105.6%			
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	13,767	14,183	14,983		14,407		105.6%			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%		100.0%			
受益者負担率 B÷A							-			
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	会場設営業務
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	専門職種であるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	消防出初式の開催	回	1	1	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	消防職員の士気高揚	人	97	102	102	104	104
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	消防団員の士気高揚	人	177	174	172	180	180
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	地域防災力(消防職員、団員の士気)が向上している。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	地域防災力(消防職員、団員の士気)が向上しており、式典の開催についても消防職・消防団員が中心となり、効率的に準備等を進め実施できている。また費用面についても必要最低限の範囲内で開催できている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	一定の成果を得られており、平成30年度も同内容を継続して実施するとともに、プレ80周年事業としての出初式開催を目指すもの。	
現在抱える課題と対策	課題	会場設営委託料の上昇
	対策	職員対応で可能なものは実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	消防出初式の開催を通じて、市民に防火防災をアピールするとともに、消防職員、団員の士気を向上させ、成果として地域防災力を向上させる。	